

◆東京事務所 〒144-0052 東京都大田区蒲田5-6-7
TEL : 03-6424-4020
FAX : 03-6424-4021

◆長崎事務所 〒852-8026 長崎市金堀町30-3
TEL : 095-818-1033
FAX : 095-808-1036

◆東海事務所 〒491-0053 愛知県一宮市今伊勢町本神戸山王1-803
TEL : 0586-52-5955
FAX : 0586-52-5956

◆仙台事務所 〒981-3214 仙台市泉区館2-6-1
TEL : 022-343-9984
FAX : 022-343-9164

◆広島事務所 〒731-3164 広島市安佐南区伴東1-54-10
TEL : 082-516-6603
FAX : 082-516-6604

◆佐野工場 〒327-0812 栃木県佐野市町谷町303-1
TEL : 0283-86-7245
FAX : 0283-86-7246

◆本社/工場 〒818-0046 福岡県筑紫野市山口1929-7
TEL : 092-925-9858
FAX : 092-925-9857

26

北九州市小倉城 「宮本武蔵・佐々木小次郎モニュメント」

小倉城は福岡県北九州市役所のすぐ隣に位置する旧海城で、多くの観光客が訪れる北九州を代表とする観光地です。今回、天守閣再建60周年記念として宮本武蔵・佐々木小次郎のモニュメントを設置させていただきました。

デザイン募集は広く公募され、スペイン人で日本が大好きなトニ・マタス・ニコラウ氏の大賞デザインを基に設計・制作・設置致しました。



○拘りの制作

制作はトニ氏のデザインを基に日本人の骨格を意識し、武蔵の「二刀流」での堂々とした出で立ちや佐々木小次郎の大太刀による「燕返し」の姿勢を指の向きまで精密に表現しました。

最後まで二人の眼（マナコ）の表現で紛糾しましたが、決定後は命が宿るかのような彫刻家西村泰司氏の拘りの造形でした。



武蔵粘土造形



小次郎石膏原形



ブロンズ鑄造状況



○小倉城と宮本武蔵・佐々木小次郎の由縁

小倉藩小笠原家の筆頭家老である武蔵の養子伊織とともに小倉へ移った武蔵は、小倉で7年という、60余年の生涯のうちで最も長い期間を過ごし、多くの人に兵法を指南したと伝えられています。

佐々木小次郎は、諸国武者修行に出て、幾度も高名な兵法者と決闘をしその名をあげます。やがて、小倉に現れ、その評判を耳にした藩主細川忠興公に引き止められ、道場を開きます。



隣接する山口県下関市との間には二人が決闘を行った巖流島があり、他にも二人の由縁の場所が多数ありますので、お立ち寄りください。

宮本武蔵・佐々木小次郎像：

ブロンズ像 H1800程度
台座：W2200(1800)×H800 桜御影石貼り
業務委託費：1000万円

発注元：北九州市都市マネジメント政策課
デザイン：トニ・マタス・ニコラウ氏
設置場所：福岡県北九州市小倉北区内2-1
設計・制作・施工：株サイト
サイト担当者：加藤・岡松
竣工時期：平成31年3月

27

福岡市 舞鶴公園 木道改修工事

舞鶴公園は福岡市中央区にある福岡城の本丸址を中心とする公園です。

今回の木道は、菖蒲園に設置されていた既存木道の改修です。

舞鶴公園は、大濠公園の東部に隣接する位置にあり、市民の憩いの場所です。城址には約500本の桜が植えられており、園内には陸上競技場などのスポーツ施設が整備され、大濠公園や福岡市美術館などが隣接しています。

春には多くの花見客で賑わい、一年を通して美術館帰りの人々が憩うなど、一帯はやすらぎの場として多くの市民に愛されています。



改修前の木道は国産杉材でしたが腐敗し危険だった為、再生木（二層発泡材）での改修でした。有効幅員2400mm 両側転落防止柵付です。

支柱・柵材は銅製（溶融亜鉛メッキ）に再生木を被覆し、根太材にはFFU（ガラス繊維強化プラスチック発泡体）を使用しています。また場所がら、床板固定のビスもステンレス製ブロンズ色電解発色仕上げ品を使用しています。



舞鶴公園 木道：

設計金額¥150,000/㎡（材工共）

発注元：福岡市みどり整備課
設計事務所：梅岡 設計事務所
設置場所：福岡市中央区
サイト担当者：田代（営業）：奥（設計）
竣工時期：平成31年4月